

創部1年、決意新た 松波病院柔道部が式典

羽島郡笠松町田代の松波総合病院は28日、昨年4月の柔道部創部から1年になるのを契機に活動を本格化させようと、同町常盤町の町民体育館柔道場で創部式典を開いた。



あいさつで柔道部創部への思いを語る松波英寿理事長＝羽島郡笠松町常盤町、町民体育館柔道場

柔道高段者でもある同病院の松波英寿理事長(64)が、医療従事者の業務と柔道を両立させ、社会貢献できる団体をつくろうと、昨年4月に創部した。国体出場経験のある松井陽子さん

(35)＝関市＝を監督として招いたが、新型コロナウイルスの影響で活動を休止。昨年10月から徐々に練習を再開、これまでに公式戦にも出場した。現在は4月から就職する1人を含め部員2人で、来年以降4人が入部の予定。

式典は、同病院と関わりのある大学や高校、県柔道協会の関係者ら約30人を招いて開催。総監督の松波理事長が「医療従事者として働き午後3時から柔道のトレーニングができ、現役引退後も働き続ける環境をつくりたい」とあいさつ。部員が紹介され、県内選手による柔道形の記念演武も披露された。(土屋健一)